

互 版 じゅん

発行 平成28年10月
岩田じゅん連合後援会
岩田じゅんオフィシャルサイト

視 察 ・ 研 修

7月から8月にかけて私の所属する「生活社会委員会」で、6市の行政視察に行つて参りました。何度もご紹介をさせて頂いてますが「生活社会委員会」とは上下水道・消防署・社会部を担当しておりますので今後の豊田市政の運営に反映が出来るよう視察結果を整理して参ります。



● 7月26日(火)・・広島県福山市議会
「上下水道事業のアセットマネジメント」

● 8月2日(火)・・青森県弘前市議会
「スマートツーリズム事業について」

● 7月27日(水)・・香川県高松市議会
「消防団確保の取組みについて」

● 8月3日(水)・・青森県青森市議会
「コンパクトシティのまちづくりについて」

● 7月28日(木)・・大阪府堺市議会
「自転車利用における交通安全・防犯の取組み」

● 8月4日(木)・・北海道函館市議会
「地域交流まちづくりセンターについて」

豊田市の人口と現状分析

現在の豊田市の総人口がリーマンショック以降、約42万人で横ばいです。高齢化率は上昇傾向にあり、2014年の高齢化率は約21%となり人口性比は男子が109.9%と高く、特に20~39歳の人口比率が128.0%と高い状況でも有ります。初婚平均年齢も上昇傾向で男性29.9歳・女性28.1歳と高まっている状況でも有ります。単独世帯の割合も増加しており約52,000世帯で全体の32.5%を占め、中でも6,800世帯が高齢者の単独世帯(H22年)となっています。

私の住む高橋中学校区の状況は人口21,166人で全人口の約5%を占めており高齢化率は22.8%(H28年5月時点)と全市と比べるとやや高い状況。こういった人口等の現状分析をして行く事で将来の取組むべき役割が見えて来ます。私の住む上野自治区でも区画整理が進み住宅が増えている状況でも有りますが・・高齢者の単独世帯数の多さも忘れてはならない事と取組むべき案件は多々有る事も事実であると感じています。

高淳会 太田市長へ表敬訪問

7月4日午後2時より「高淳会」による太田市長への表敬訪問をさせて頂きました。高橋中学校区の中での11自治区長の有志の皆様で組織される「高淳会」は遡る事、昭和46年から故吉田五郎先生の頃には「東五会」昭和62年から故村山栄二郎先生の「東栄会」そして平成11年八木てつや代議士が市議会議員の頃には「東八会」と約半世紀に渡り地元の市議会



議員と地元の区長の皆様方と有意義な時間を過ごして来た歴史の有る会でも有ります。高橋の高、岩田淳の淳を取って「高淳会」が今年度より立ち上がる事になり、今日は太田市長へ表敬訪問をさせて頂く運びとなりとても有意義な時間を頂く事が出来ました。

名水「とよた水物語」

私の所属する生活社会委員会が担当する「豊田市上下水道局」では最大で5年間保存可能な災害備蓄用の飲料水「とよた水物語」の店頭販売が新たにJAあいち豊田各グリーンセンターなど7箇所でスタートします。価格は500mlで1本あたり100円で販売開始は9月1日より開始しています。

危機管理をどれだけ持つ事ができるかが1つのポイントと考えます。身近に「とよた水物語」が手に入るようになった事で皆さんにも災害への意識を高めて頂けるかと思えます。購入は電話・ホームページでも受付できます

各地区夏祭り

今年も各自治区では夏祭りが盛大に行われました。14自治区・自治会でお招きを頂き8月6日(土)がピークで9カ所へ何わせて頂きました。各自治区いろいろ工夫され地域皆様が一体となり出店をだすなど大変な盛り上がりを見せていました。お招きを頂きありがとうございました。



地域だより

「県道 則定線」



側溝も当時のままで老朽化も進み側溝の無い箇所も有ります。長年に渡り県道則定線の拡幅が要望とされ、現在では高橋の架け替えが進み高橋1丁目交差点の出前まで拡幅が進む事が決定されています。

高橋1丁目交差点出前から東にかけての拡幅を早急実現に向けて、すずき雅博県議会議員と共に働きかけて参ります。

老朽化された側溝に関しては、地元要望として要望書を提出する予定をしています。拡幅要望も提出して参ります。

「池田地区 市道」

9月 池田自治区からの地域要望で池田～矢並線の市道での危険区域の今年度工事の予算化が決まりました。

山の上から石が転がり落ちて来る場所で雨が降ると山の土が流れ落ち、非常に危険な区域で私も何度か立会いをさせて頂きました。

工期は約1カ月との事で年度内には完了を予定しています。池田自治区長と執行部の方々には迅速な対応をして頂き感謝を申し上げます。

